

## 平成30年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>芸術</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>美術 I</b>	対象学年	<b>1</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	高校美術 I（光村図書）	担当者	柴田	
使用教材	教科書および配布プリント ゴールデンアクリリックス			
学習内容	ねらい	美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てる。		
	1 学期	素描：鉛筆基礎・色彩基礎・着彩デッサン 対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。 (1)鉛筆による基礎表現 (2)アクリル絵の具による混色表現 (3)着彩デッサン (4)鑑賞	授業時間	24  時間
	2 学期	塑造：食品サンプルの製作 樹脂粘土を用いた塑造表現によって、立体的なものの見方や質感表現を身につけ、観察力と表現力を高める。 (1)モチーフのスケッチ (2)制作手順の計画 (3)モチーフのモデリング (4)鑑賞	授業時間	26  時間
	3 学期	彫刻：アニマルレリーフ製作 動物の頭部を立方体の2面にレリーフとして彫刻することで、立体表現と平面表現について学び、表現力と鑑賞の能力を高める。 (1)動物のスケッチ (2)レリーフ作成 (4)鑑賞	授業時間	20  時間
評価観点	<p>関心：主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、喜びを味わい美術を愛好していかうとする。</p> <p>能力：豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想をする。</p> <p>技能：表現の技能を身につけ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。</p> <p>鑑賞：美術作品や文化遺産などに親しみ、よさや美しさを感じ取り味わったり、理解したりする。</p>			
評価方法	評価の観点から作品を採点し、普段の授業態度や持ち物などの評価を足し引きした総合点により評価する。			
備考				

## 平成30年度 シラバス（授業計画）

教科名	<b>芸術</b>	単位数	<b>2</b>	単位
科目名	<b>美術Ⅱ</b>	対象学年	<b>2</b>	学年
科目分類	<b>必修選択</b>	授業形態	<b>一斉</b>	授業
教科書	高校美術Ⅱ（光村図書）	担当者	柴田	
使用教材	教科書および配布プリント ゴールデンアクリリックス			
学習内容	ねらい	一年生で学んだ事を基にして美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てる。		
	1学期	デザイン:シンボルマークの制作 自身の特徴を表すシンボルマークをデザインすることで、客観的な捉え方や言葉を必要としない伝達方法について学び、表現と創造の能力を高める。  (1)自身の特徴の分析 (2)デザイン案 (3)制作 (4)鑑賞	授業時間  <b>24</b>  時間	
	2学期	映像表現:コマ撮りアニメの製作 写真、ビデオ等の映像機器を使った表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。  (1)機器、用具、材料の知識及び使用技術 (2)企画、構成、演出 (3)編集、合成、加工 (4)鑑賞	授業時間  <b>26</b>  時間	
	3学期	造形:ランプシェードの製作 木のブロックを使用して、形と光の2面から考える立体造形の表現をすることで、表現と創造、鑑賞の能力を高める。  (1)ランプシェードのデザイン (2)木のブロックの組み立て (3)着色・仕上げ (4)鑑賞	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	関心:主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、喜びを味わい美術を愛好していこうとする。 能力:豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想をする。 技能:表現の技能を身につけ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す。 鑑賞:美術作品や文化遺産などに親しみ、よさや美しさを感じ取り味わったり、理解したりする。			
評価方法	評価の観点から作品を採点し、普段の授業態度や持ち物などの評価を足し引きした総合点により評価する。			
備考				